

令和3年度授業がわかる調査の分析結果について

はじめに

令和3年度に実施した第2回「授業がわかる調査（※1）」の結果及び第1回調査から第2回調査への推移について、児童生徒が授業に対して感じている「わかる」と「楽しい」の学級ごとの状況を分析（※2）し、教科ごとの特徴を学校種別や学年別の観点で示した。学びの主体である児童生徒の視点で授業を振り返る一助にするとともに、各校でより詳細な分析を行い、授業改善を進めていただきたい。

◆ 調査結果について

教科平均 小・中ともに「わかる」と感じる児童生徒の割合の方が、「楽しい」と感じる児童生徒の割合よりも平均値が高く、小学校ではよりその傾向が顕著である（表1、2）。また、分散指標（学級間のばらつき）は、「わかる」よりも「楽しい」の方が大きく、学級が違ふことの影響は「楽しい」の方が大きいこともわかる。さらに、学級間のばらつきを小・中で比べると、「わかる」では小学校の方が小さいが、「楽しい」では小学校の方が大きくなっている（表3、4）。言い換えると小学校では特に、学級が違っても「わかる」という実感に差は出にくい一方で、「楽しい」と感じるかどうかの差が出やすくなっていると言える。

国 語 小・中ともに「わかる」と感じる児童生徒が8割を超える学級が多く、「わかる」の分散指標（学級間のばらつき）が全教科で最も小さい（表1、3）。半面、「わかる」と「楽しい」の相関係数が他教科より低めで、「わかるから楽しい」とは感じにくい教科と言える。（表5）

社 会 「わかる」「楽しい」とともに他教科と比べると分散指標（学級間のばらつき）が大きく、「わかる」と「楽しい」の相関係数が比較的大きいため、「わかるし、楽しい」と感じる学級と「わからないし、楽しくない」と感じる学級の差が大きくなりやすい教科と言える（表3、4、5）。小6と中3は相関係数が低めで、他の学年に比べると「わかるけど、楽しくない」と感じている学級が多い（表5）。

算数・数学 小学校では「わかる」も「楽しい」も4教科の中で最も平均値が低く、「楽しい」は学年が上がるにつれて下がる傾向がある（表1、2）。中学校では学年が上がるにつれて「わかる」と感じる割合が高くなるが、中2と中3は「わかる」と「楽しい」の相関係数がかなり低い（表1、5）。また、小6と中1は第1回調査から第2回調査にかけて、他教科よりも「わかる」も「楽しい」も減少幅が大きい。その一方で中3は「わかる」の増加幅が大きい。

理 科 小4では「わかる」「楽しい」とともに8割を超える学級が多い（表1、2）が、小5から上の学年では、どちらも分散指標（学級間のばらつき）が大きく（表3、4）、かつ「わかる」と「楽しい」の相関係数が高い（表5）。つまり、「わかるし、楽しい」と感じる学級と「わからないし、楽しくない」と感じる学級が多く、その差が大きくなりやすい教科と言える。また、「わかる」「楽しい」とともに第1回調査から第2回調査にかけて、小5から中2は減少しているが、中3は増加している。

英 語 「わかる」「楽しい」と感じる割合の平均値が、中1の「楽しい」を除いて最も低い（表1、2）。学年が上の方が「わかる」と感じる割合が大きい、「楽しい」と感じる割合が小さい（表1、2）。学年が上がるにつれて「わかる」と「楽しい」の相関係数が大きくなる傾向がある（表5）。

第1回調査から第2回調査にかけた変化やグラフなどはこちらから



おわりに

第2回調査の傾向、そして第1回調査から第2回調査にかけた変化について、各学年や各教科に紐づく違いが見えてきた。あくまで傾向であり、いずれの学年や教科でも個別に見ると「わかる」「楽しい」とともに高い割合の学級が存在するため、学年や教科の特徴に応じた授業改善を各学級や教科担当で進めていく必要がある。理解できることやテストで正解できることだけでなく、児童生徒が主体となり学習したことを活用してさらに探究したり、アウトプットしたりすることが重要ではないだろうか。

表1「わかる」の学級平均

	教科平均	国 語	社 会	算数/数学	理 科	英 語
小4	86.6%	90.0%	84.0%	81.2%	91.1%	
小5	83.8%	87.9%	84.3%	77.3%	85.7%	
小6	84.3%	88.9%	86.1%	78.0%	84.2%	
中1	76.5%	86.2%	81.6%	71.9%	73.8%	69.0%
中2	75.8%	83.0%	79.9%	74.8%	71.5%	69.9%
中3	80.5%	87.4%	86.6%	81.4%	74.6%	72.7%

表2「楽しい」の学級平均

	教科平均	国 語	社 会	算数/数学	理 科	英 語
小4	78.0%	77.2%	75.4%	72.5%	87.0%	
小5	70.9%	69.6%	70.0%	66.8%	77.4%	
小6	69.6%	67.7%	76.1%	61.5%	73.3%	
中1	73.4%	73.9%	82.1%	65.6%	74.0%	71.4%
中2	70.3%	69.2%	72.5%	71.1%	71.3%	67.5%
中3	71.2%	75.2%	77.0%	71.1%	68.6%	64.4%

表3「わかる」の分散指標（※3）

	教科平均	国 語	社 会	算数/数学	理 科	英 語
小4	0.26	0.25	0.93	0.71	0.41	
小5	0.35	0.75	0.98	0.87	1.11	
小6	0.29	0.39	0.57	0.51	0.82	
中1	0.35	0.36	0.85	1.56	1.62	0.97
中2	0.63	0.77	1.97	0.95	1.75	1.25
中3	0.49	0.58	0.77	0.78	1.24	1.02

表4「楽しい」の分散指標

	教科平均	国 語	社 会	算数/数学	理 科	英 語
小4	0.67	0.89	2.33	1.32	0.88	
小5	0.94	1.73	2.67	2.60	2.31	
小6	1.44	2.51	1.52	1.70	2.56	
中1	0.47	1.05	0.98	2.80	1.93	1.04
中2	0.77	1.17	2.41	1.93	3.10	1.32
中3	1.13	1.29	2.09	1.77	2.00	1.81

表5「わかる」と「楽しい」の相関係数（※4）

	教科平均	国 語	社 会	算数/数学	理 科	英 語
小4	0.63	0.55	0.76	0.59	0.49	
小5	0.73	0.61	0.85	0.74	0.88	
小6	0.71	0.66	0.53	0.56	0.69	
中1	0.60	0.53	0.72	0.72	0.72	0.54
中2	0.76	0.53	0.71	0.14	0.86	0.60
中3	0.58	0.34	0.47	0.28	0.75	0.63

※1：授業がわかる調査は、平成16年度から戸田市が独自に行っている、授業に関する児童生徒向けのアンケート調査である。アンケート内容は、「授業の内容がわかりますか（小学校は国・社・算・理の4教科、中学校は国・社・数・理・英の5教科）」と「授業が楽しいですか（全教科）」、そして今年度から「探究心」「社会貢献意欲」「他者との協働意識」に関する質問とした。調査対象は小学校第4学年から中学校第3学年で、今年度は第1回の調査を6月、第2回の調査を12月から1月にかけて実施した。

※2：分析には各学級における肯定的な回答の割合を用いた、すなわち「わかる」であれば【よくわかる】と【だいたいわかる】の和の割合

※3：分散指標は分散の値に10を乗じたもの

※4：相関係数は「わかる」と「楽しい」の関係性の強さ